

H23. 6. 18

東北と世界と平和



東日本大震災特集 最終回



長尾和宏 (ながお・かずひろ)
 東京医大卒業後、大阪大第二内科入局。平成7年、尼崎市で「長尾クリニック」を開業。外来診療から在宅医療まで、人を診る、総働合診療を目指す。医学博士。労働衛生コンサルタント。52歳。ブログ (<http://www.nagaoclinic.or.jp/doctorblog/nagao/>) が好評。

今日から東京を皮切りに記録映画「無常素描」が公開されます。8日間被災地を巡った私を追ったカメラが捉えた単なる映像です。ナレーションも字幕も音楽も何もない無機質な画像は、むしろ海外の方に見ていただいたら良いのかもしれない。

同時に本日午後、「阪神から東日本を支援する市民フォーラム」を西宮市のアクタ西宮で開催。活動報告をし、阪神からできる支援を考えました。私自身も感動しました。

7月9日には、阪神大震災のとき、阪急西宮北口駅前の店舗立ち退き問題に関わられた弁護士さんによる「被災者の生活支援」の話も加わります。

さて、東北は世界に大きな影響を与えました。世界は東

平和こそ最大の鎮魂

北人の我慢強さ、崇高さに驚きました。私自身も感動しました。

シアの関係を、少し変わったように感じました。お隣、台湾からは実に多額の義援金をいただきました。その他、アジアの国々の裏通りでも、募金活動が行われました。タイのゾウまで募金活動に一役かってくれました。

アメリカ軍にも助けていただきました。感謝しています。ヨーロッパでは、知人が街角で福島県相馬市の震災孤児のために募金してくれました。N Yではなんと被災地の学生が

した。ひどい目にあっているのにパニックにならず穏やかなのです。

宮城県女川町には、中国人研修生を助けながら、自分は犠牲になられた水産加工会社の佐藤充さんがおられました。助けられた研修生たちが中国に帰り、佐藤さんの行為に感謝。それがネット上で広がり、特に若者の間で日本の評価が変わりつつあるそうです。

佐藤さんのおかげで5月、中国と韓国、日本の首脳が一堂に笑顔で会しました。東ア

シヤの関係を、少し変わったように感じました。お隣、台湾からは実に多額の義援金をいただきました。その他、アジアの国々の裏通りでも、募金活動が行われました。タイのゾウまで募金活動に一役かってくれました。

アメリカ軍にも助けていただきました。感謝しています。ヨーロッパでは、知人が街角で福島県相馬市の震災孤児のために募金してくれました。N Yではなんと被災地の学生が

渡米し、募金活動をしている。今も世界中が東北を熱い心で支援し続けてくれています。

神戸大のロニー・アレキサンダー教授は被災地を訪れ、子供たちにクレヨンで絵を描いてもらっています。同時に海外でも同じことをしています。

権力者も名もなき人々も気持ちのひとつになった瞬間があったように感じる。大きな地球が少し共鳴した。自然の前で世界中が少しだけ謙虚になりました。

文明学者の梅棹忠夫先生は「文明は破滅に向かうしかない」と絶望しました。しかし、ひとすじの「光明」がある、とも言われ残されました。

その「光明」とは、東北人の忍耐強さだったのでしようか。東北に思いを寄せた「世界の善意」だったのでしようか。

国際関係論・平和研究者。核問題、ジェンダーと平和、平和学、平和教育の専門家。ポー・ポキ・ピース・プロジェクトを中心に、絵本「ポー・ポキ、平和って、なに色？」(エピック)などの著書がある。

ロニー・アレキサンダー教授(神戸大) 国

ひょうご